

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公開番号】特開2009-8370(P2009-8370A)

【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-002

【出願番号】特願2007-225027(P2007-225027)

【国際特許分類】

F 2 4 F 7/06 (2006.01)

F 2 4 F 7/08 (2006.01)

F 2 4 F 7/10 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 7/06 L

F 2 4 F 7/08 Z

F 2 4 F 7/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月15日(2009.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

屋外から空気を給気手段で取り入れて下階の居室及び上階の居室に給気する一方、各居室の空気を排気風路を介して屋外に排気するようにした建物の換気システムにおいて、

前記給気手段で取り入れられる前記空気の一部を前記上階の居室に案内する給気ダクトが前記給気手段の吐出側に設けられていると共に、前記給気手段で取り入れられる前記空気の残りを前記下階の床下空間内に給気する給気口が設けられ、

前記下階の居室と前記床下空間を仕切る床部には連通口が形成され、

前記連通口の風量を制限可能な通気抵抗手段が、前記給気手段から前記連通口に至る前記空気の残りが通る経路上に設けられていることを特徴とする建物の換気システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の建物の換気システムにおいて、前記通気抵抗手段が、前記給気口に取り付けられていることを特徴とする建物の換気システム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の建物の換気システムにおいて、前記給気口に取り付けられた通気抵抗手段が、前記給気口から給気される前記残りの空気を、複数に分岐させて複数の吹出口から前記床下空間へ給気する分岐チャンバであることを特徴とする建物の換気システム。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の建物の換気システムにおいて、前記分岐チャンバの複数の吹出口が、キャップにより任意に閉塞可能に形成されていることを特徴とする建物の換気システム。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の建物の換気システムにおいて、前記通気抵抗手段が、前記連通口に装着されていることを特徴とする建物の換気システム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の建物の換気システムにおいて、前記通気抵抗手段は除塵用のフィルタであることを特徴とする建物の換気システム。



**【請求項 7】**

請求項 6 に記載の建物の換気システムにおいて、前記フィルタは脱臭用のフィルタを兼用することを特徴とする建物の換気システム。